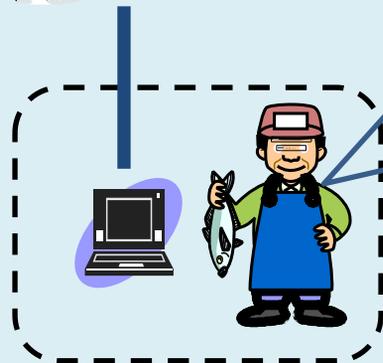
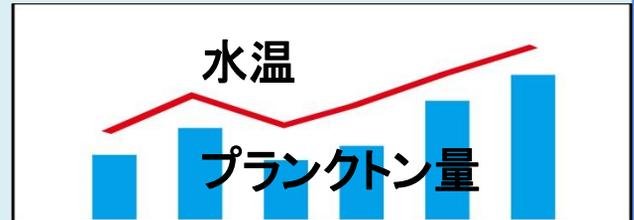
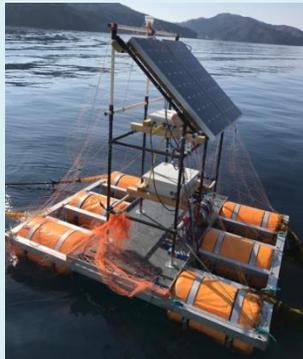
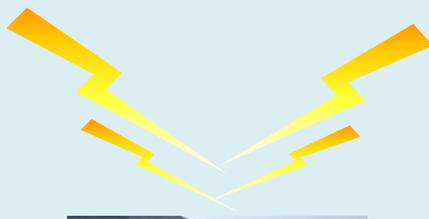


サケ稚魚の餌生物の密度がわかる

技術の概要

サケ稚魚の放流時期を決めるためには、湾内で餌となる動物プランクトンの情報が必要です。そこで、湾内に機器を係留し、水温・塩分の海洋情報と動物プランクトンの大きさ別の密度を漁業者に毎日提供できるシステムを開発しました



「サケ稚魚の放流時期だ。」
「この海洋環境なら、イカナゴ漁がよさそうだな」

グラフはイメージです。

期待される効果

- 水温、塩分などの海洋情報と動物プランクトンデータの蓄積により、パターン化した海洋情報からプランクトン量を予測し、餌環境に合わせた放流計画を立てることができる。
- また、これらのデータと沿岸での漁獲データの蓄積により、海洋環境のパターンから漁獲予測が可能になる。
- エコグラムから、魚群の来遊がわかる。

【お問い合わせ先】

水産研究・開発機構 水産工学研究所 漁業生産工学部 水産情報工学グループ
澤田浩一 ksawada@fra.affrc.go.jp

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。